

トピック(テーマ)	長坂利郎		
ねらい	「嘘を教えるな、怪我をさせるな、火事を出すな」は長坂利郎が説いた三訓で、長い間長野県の教員に受け継がれてきた。彼は大正4年(1915)、師範学校長星菊太に対し「萎靡(いび)振はざる師範教育、敢て校長星菊太氏の猛省を促す」を『長野新聞』へ投稿し、校長の辞職勧告の企てに加わった。人格教育を重んじた長坂は、日中戦争下にあっても、その姿勢を崩すことはなかった。		
キーワード	長坂利郎の三訓 東西南北会 師範学校長星菊太への辞職勧告事件 信濃哲学会の結成 石井鶴三の彫塑講習会 大正自由主義教育 川井訓導事件		
概要を知るためのツール	1	書名	信州の教師像
		著者名	信濃毎日新聞社編集局
		出版社	信毎書籍
		出版年	1970.10
		内容紹介	師範学校長辞職勧告事件で1か年の休職処分後、教職に復帰した長坂は、信濃哲学会を結成し、また石井鶴三を招いて彫塑講習会を主催している。教師が人格を深めるうえで学問・芸術を追求することの大切さを示すとともに、信念と気迫をもって教育にあたることを説いている。
資料リスト	1	書名	信州近代の教師群像 続
		著者名	中村一雄
		出版社	東京法令出版
		出版年	1995.9
		内容紹介	長坂は昭和8年(1933)から同17年10月まで鍋屋田小学校に校長として在職した。15年戦争下にあつて、人格主義、自由主義の教育に徹しようとする彼の苦闘が紹介されている。
	2	書名	長坂利郎遺稿
		著者名	長坂利郎遺稿刊行会
		出版社	小県上田教育会
		出版年	1968.2
		内容紹介	遺稿(論説・日記・年譜)、追憶、故人宛書簡で構成。長坂利郎の全体像を理解するうえで、欠くことの出来ない文献。「ランドセル 背負はせて送る はは親が おくれずに行けと くりかへし言ふ」の短歌に彼の教育者としての本質の一端をうかがうことができる。
	3	書名	信濃教育 長坂利郎追悼号 685号
		著者名	信濃教育会
		出版社	信濃教育会
		出版年	1943.11
		内容紹介	昭和18年6月に亡くなった長坂の追悼号。6人の追悼文と年譜を掲載。
	4	書名	信州人物誌
著者名		田島 清他／著	
出版社		信州人物誌刊行会	
出版年		1971.4	
内容紹介		教育界にも戦時色が強まり、教員も戦闘帽・国民服・ゲートル姿に染まっていった時、「俺はやだなあ、先生だからそんなものは着ない」と笑っていた、というエピソードが掲載。	
雑誌	1	論題名	1930年代「長野県教員赤化事件(二・四事件)」の研究:長野県会と信濃教育会の動きに焦点をあてて

		著者名	越川求／著
		雑誌名	立教大学教育学科研究年報
		出版年	2018
		巻号頁数	立教大学学術リポジトリ
インターネット	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
		概要	信州の教育文化遺産 大正～戦前 前編(大正)のなかに「人格教育・自由教育の長坂利郎」に関する映像がある
	2	サイト名	ジャパンサーチ
		URL	https://jpsearch.go.jp/
		概要	長坂利郎に関する資料を探することができる
	3	サイト名	長野県市町村史誌目次情報ネットワーク
		URL	http://misuzu-mokuii.net/
		概要	長坂利郎に関する記述が丸子町誌歴史編下にあることがわかる
新聞	1		今日の視点 務台理作の理想
		発行機関	信濃毎日新聞 夕刊 1ページ
		年月日	1996.6.18